

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1001
2023.8.27

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

松村	としお	とば	めぐみ
久保	みき	たけこし	連
金子	あきよ	池田	めぐみ

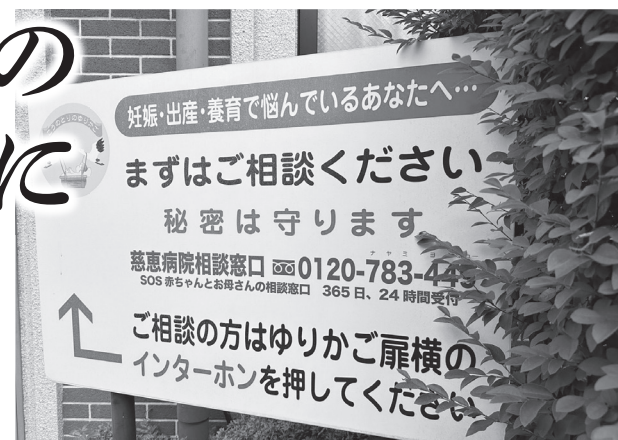
熊本市の慈恵病院を視察

子どもと母親の命を守るために

今年 5 月、静岡県沼津市で、7 月には栃木県小山市で、新生児の死体遺棄事件がありました。それ以前にも、愛知県西尾市や東京都港区においてトイレで出産し、公園に赤ちゃんの死体を遺棄する事件が起きました。いずれも妊娠したことを誰にも言えず、不安と困惑を抱えたまま出産し、殺害、死体遺棄へと最悪の結末を迎え、母親だけが「保護責任者遺棄致死罪」として罪に問われるものです。

8 月 3 日、党市議団は、これらの事件を社会の力で防ぐための行政の課題を研究するという観点から、子どもの命を守ること、そして人工妊娠中絶や育児が困難である社会的に孤立した状況にある女性が、新生児を殺人・遺棄する犯罪を防ぐことを目的とした、慈恵病院のとりくみを視察しました。

親が育てられない子どもを匿名で受け入れる「こうのとりのゆりかご」が設置されたのは 2007 年。病院に設置された「ゆりかご」は、屋外と屋内に扉が設けられ、中には新生児がいるくらいのバスケット程度の空間があり、冬は適度に保温され、夏は猛暑に晒されないよう



工夫され、この中に新生児を入れると、宿直室の呼び出しブザーなどに直結されたセンサーが働き、職員がすぐさま安全に保護します。ポストには、親向けにメッセージカードが用意され、ポスト設置施設や児童相談所などの連絡先が記載され、あとから親であることを名乗り出る際に役立つよう配慮されています。

最初に「ゆりかご」に預けられた子どもは赤ちゃんではなく 3 歳近かったことから、内側には転倒防止の柵が設置されています。その子は里親に引き取られ、現在大学生。名前は熊本市長がつけたと言います。母親が交通事故で亡くなり、誰かがゆりかごに預けたとのこと。

内密出産にもとりくむ

「こうのとりのゆりかご」設置以来、170 名を超える赤ちゃんを救ってきたものの、乳児遺棄事件は後を絶たず、慈恵病院は母子のさらな

「ゆりかご」外側から開けると親へのメッセージがある



る救済の道として、2019 年から母親が匿名で出産し、子どもは後で出自を知ることができる「内密出産」にもとりくんでいます。これは、出産する母が自身の身元を開示することなくおこなう出産ですが、2022 年には「内密出産」に関する法律がなかった日本にガイドラインができ、相談を受けるところから出産、戸籍の作成、子どもの保護まで、場面ごとに医療機関や行政がかかわれるようになりました。慈恵病院が独自で行っていた内密出産に、国が公式に見解を示し、都道府県に関与するよう求め、公的な責任をゆるやかに認めたという点で、一歩前進です。

命を守る立場に徹する

慈恵病院の献身的なとりくみは、「子どもの命を守る」「決して母親を責めない」という立場に徹しており、出産を希望すれば、名前も事情も聞かず受け入れ、慈恵病院までの交通費がない妊婦さんには、地元のカトリック教会を通じて交通費や切符を届け、1 人で病院に来ることが困難な妊婦さんは、たとえ北海道であっても迎えに行き、出産費用も取らないなど、だれ



「ゆりかご」内側。空調が 24 時間稼働している

ひとり取りこぼさないかまがあります。

また、慈恵病院を頼る女性たちは、自分で育てることはできないけれども、赤ちゃんに「生きてほしい」「幸せになってほしい」という思いがあります。なかには 2 人で泣きながらゆりかごに赤ちゃんをおいていった若い男女もいたと言います。

来年 4 月から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されますが、慈恵病院のとりくみは、まさに困難な問題を抱える女性に徹底的に寄り添うための具体的な手立てがとられていました。

慈恵病院の方は出自よりもまずは匿名性を尊重する必要があることを強調し、24 時間態勢で、年間数千件の相談に対応していると言います。しかし、「ゆりかご」も内密出産もすべて慈恵病院の特別会計で、募金で賄われており、行政の財政的支援は一切ありません。これには私たちも驚きました。行政の財政的支援がないのは大きな課題です。

視察に参加したとばめぐみ市議は「大人にどんな事情があっても、赤ちゃんには生きる権利と幸せになる道があるというのが慈恵病院の立場。子どもの命を守るという観点から、行政にできることを探っていきたい」と話しました。

長崎市の不登校児童生徒支援

子どもと支援員の信頼関係をつくりながら

翌 8 月 4 日、党市議団は長崎市の不登校支援のとりくみを学ぶため、長崎市立山里中学校を視察しました。長崎市教育委員会は不登校支援のセンター（適応指導教室）のほか、各小中学校に「別室登校」できるとりくみをおこなっています。

山里中学「別室」は、2021 年から NPO 法人「子どもの権利オンブズパーソンながさき」の支援員が派遣されています。もともと不登校支援をしていた同 NPO が実態調査をおこないたい旨を長崎市教育委員会に申し入れたところ、「学校に入ってしまったらどうか」と提案され、不登校生徒の多い同校「別室」へ支援員の派遣をはじめました。

視察では、山里中学校の校長先生からお話をうかがいました。「最初はとまどいがあった」そうですが、「いまではありがたい存在」と認めています。もともと別室は教員たちが分担して運営していたことから、教員にとっても負担となる部分がありました。また子どもにとっても教員ではない支援員だからこそ安心して別室をたずねることができるというメリットもあります。実際に、教員へのアンケートでは 94% が「支援員が必要」と答えています。同時に教員からは、教員との連携や学習支援への対応を求める声も出されています。

「別室登校」で柔軟な対応

さいたま市の教育支援センターは学校とは別



(左から)長崎山里中の校長先生、NPO 法人の支援員、とば、たけこし、松村、金子、池田の各市議

の公共施設に設置され、各校に教室に入れない子どもがいても「別室登校」の枠組みはできていません。長崎市では「別室登校」という部屋が確保され、そこに支援員がいることで子どもたちは安心してここを拠点に時々教室に行ってみたり、柔軟な対応ができていた様子うかがえました。

また、長崎市教育委員会として、不登校支援においては学習支援よりもコミュニケーションを大事にしていることが強調されました。別室には校長先生が用意したカードゲームなどが備えられており、遊びを通じて関係性を築いたり、子どもの居場所づくりをしていました。また、将来の職業や学びのイメージを持ってもらおうと長崎大学の協力を得て大学見学を実施したり、オンラインで別室同士をつないでプログラミング教室にとりくむなどの工夫もしています。参加した子どもからは「大学に行きたいと思った」「プログラミングが楽しかった」との



校長室で市議団を代表してあいさつする
松村市議（左から 2 人目）

感想が寄せられていました。

同 NPO による支援員派遣は今年で 3 年目になります。支援員は「3 年かけてようやく話ができる関係性をつくることができた子どももいる。信頼関係を継承していけるようにしたい」と話していました。事業の継続性という点では長崎市は費用を一切負担しておらず、民間助成金で支援員を派遣しています。公費助成の実現と同時に現場の裁量・自由度をどう保障していくかは今後の課題です。

さいたま市でも不登校の児童生徒数は増えています。中学校では、スクールカウンセラーやさわやか相談員への相談内容で「不登校に関す



校長先生が用意したカードゲームもならぶ

る相談」が 1 位です。視察に参加した松村としお市議は「さいたま市はオンラインでの不登校等児童生徒支援センター Growth(グロース)やメタバース（インターネット上の仮想空間）の活用を推進しているが、長崎市のような、現実世界でのとりくみを基礎にすることの重要性を感じた。また、子どもの権利を基礎においた不登校支援団体との連携を強め、そのとりくみを生かすこともさいたま市の課題だと感じた」と話しました。

9 月議会のおしらせ

9 月 6 日から 9 月議会が始まります。請願のしめきりは **8 月 29 日（火）午後 5 時** です。請願の提出には紹介議員が必要です。お気軽にご相談ください。

さいたま市の不登校児童・生徒数

	小学校	中学校
2019 年度	373 人	1003 人
2020 年度	469 人	921 人
2021 年度	550 人	1074 人

あなたの身近な議員です



市議(緑区)
松村としお



市議(桜区)
久保 みき



市議(南区)
金子あきよ



市議(見沼区)
とばめぐみ



市議(中央区)
たけこし連



市議(浦和区)
池田めぐみ